

# ロボットテクノロジー フォーラム2020

令和2年度のロボットテクノロジーフォーラムを開催します。今回のテーマは、「ロボット導入におけるすそ野を広げる」とし、労働力不足を補うための生産性向上のため、実際のロボット導入実例などを踏まえた講演です。

この機会にぜひご聴講ください。

## 【プロフィール】

日本大学工学部機械工学科  
教授 武藤 伸洋



日本大学工学部機械工学科サステナブルシステムズデザイン研究室で、持続可能な機械システムを実現するためのロボット、センサ、IoT技術の研究を行っています。前職では企業の研究所にて、溶接、センサロボット、ネットワークロボット遠隔作業支援システムの研究を行いました。

## 【プロフィール】

株式会社エフ・イー・アネックス  
代表取締役社長 松枝 芳典



オムロン(株)の制御機器事業の商品企画、サービス事業、マーケティングを経験し、オーメーションによるモノづくりへの貢献に携わりました。2020年4月より、現職に就任。東北地区の製造業の現場革新の良きパートナーとして、お客様と新たな課題解決を目指しています。

1 日時： **令和2年12月7日（月）14時～**

2 場所：ZOOMによるweb講演

3 内容：

## 講演1 少子高齢化・アフターコロナ時代のロボット技術

自動車組み立て工場や大規模通信販売企業の倉庫などでのロボットの活用は、ニュースやインターネットで良く見かけるものですが、少子高齢化で、中小企業でも人手不足を補うロボットの活用が必須となってきます。またコロナの影響で、人の移動を抑えたり、密集する環境を変えていくことが重要となってきました。このような時代の中で期待されるロボット技術について紹介します。

講演者：ロボットテクノロジーフォーラムコーディネーター  
日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏

## 講演2 ロボット活用によるモノづくり革新

近年、世界各国のモノづくり現場では、人手不足が深刻化する一方、市場の多様化するニーズに応じて多品種少量や製品ライフサイクルの短命化が進み、生産品目の変更や需要変動に合わせた生産ラインの柔軟なレイアウト変更や立上が求められています。

そして、コロナ過の新たな労働環境への転換が求められる中で「フレキシブルなモノづくり」を実現するためにロボット活用がより重要視されます。

日本の製造業の課題と連動したフレキシブルなモノづくりへの自動化・省人化の取り組みを生産現場での導入事例を交えながら、紹介します。

講演者：株式会社エフ・イー・アネックス  
代表取締役社長 松枝 芳典 氏

主催：郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

共催：日本大学工学部

## 当日プログラム

開会	
講演 第1部	少子高齢化・アフターコロナ時代のロボット技術 講師:ロボットテクノロジーフォーラムコーディネーター 日本大学工学部機械工学科 教授 武藤伸洋 氏
講演 第2部	ロボット活用によるモノづくり革新 講師:株式会社エフ・イー・アネックス 代表取締役 社長 松枝芳典 氏
質疑応答	
閉会	

※上記プログラムは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

## お申込みと受講の流れ

### 1 お申込み方法

申込み切:11月30日(月)

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構HPからお申込みください。  
<https://www.techno-media.net6.or.jp/techno/>  
申し込み多数の場合は、アライアンス形成会議会員企業を優先いたします。

### 2 WebセミナーのURL等をお届け

お申し込み完了後、入力いただいたメールアドレスに、URLを記載した受付完了メールをお送りいたします。事前にご確認ください。  
開催前日までにメールが届かない場合は、お手数ですが、下記お問合せ先までご連絡ください。

### 3 Webセミナーログイン・受講

開始時刻になりましたら、受付完了メールに記載されたURLからアクセスください。  
※当セミナーの録画・録音・撮影、及び二次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。

【お問合せ】 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構  
TEL: 024-947-4400  
mail:techno@nm.net6.or.jp  
URL:<https://www.techno-media.net6.or.jp/techno/>